

誘いの言葉

奥山 文弥

(東京海洋大学社会連携推進
共同研究センター客員教授)

東京湾は知る人ぞ知るシーバス(スズキ)の宝庫。スズキといえば江戸前的高级魚です。この魚は魚食魚でもあり食物連鎖の頂点にいるということは、エサも多いのが東京湾。実は東京湾の生物を支えているのは、目立たない場所にいる生物たち。今回は視点を变えて食物連鎖の底辺にある生物の話、石井先生から興味深く聞きましょう。

第2部では漁師が魚を捕るのを止め、遊漁船に切り替えた理由は何なのか?水産資源枯渇の打撃を受ける漁師の話、マルキューの三村さんが語ってくれます。

FISHING COLLEGE フィッシング カレッジ 2008

11月講座
東京湾の生物の話
遊漁船の話

日時
2008年11月10日(月) 午後6時半より

場所
東京海洋大学品川キャンパス
7号館1F 多目的交流研修室

参加費 無料
どなたでも参加できます。申し込み不要。当日は遅れないように大学に来てください。(満員の際はお立ち席になることがあります。)

講座概要

第1部 東京湾を支える生物たち
生物相が豊かな東京湾の生物循環を探る
講師 石井 晴人
(東京海洋大学 助教)

第2部 遊漁船行とは
漁師が遊漁案内業に変わった理由
講師 三村 達也
(マルキュー株式会社 特販課 課長)

東京海洋大学社会連携推進共同研究センター